

**\* 65cm 屈折望遠鏡のドイツ・ツアイス社で検収時の写真発見**

アーカイブ室新聞 442号に「東京天文台写真集 第一集 天文台の回顧」を発見という記事を書き、3枚の写真が欠落しているとした。早速だが、そのうちの2枚を発見した。1枚は「大正時代の麻布天文台」、2枚目は「65cm 赤道儀検収 中央に当時（昭和2年頃）の平山台長」という写真である。

1枚目の大正時代の麻布天文台という写真は、75周年誌、90周年誌、100周年誌等にも登場するので珍しくもない。2枚目はなかなか貴重な写真である。65cm 屈折望遠鏡をドイツに出向いて平山台長が検収している際の写真（写真1）だと書いてある。

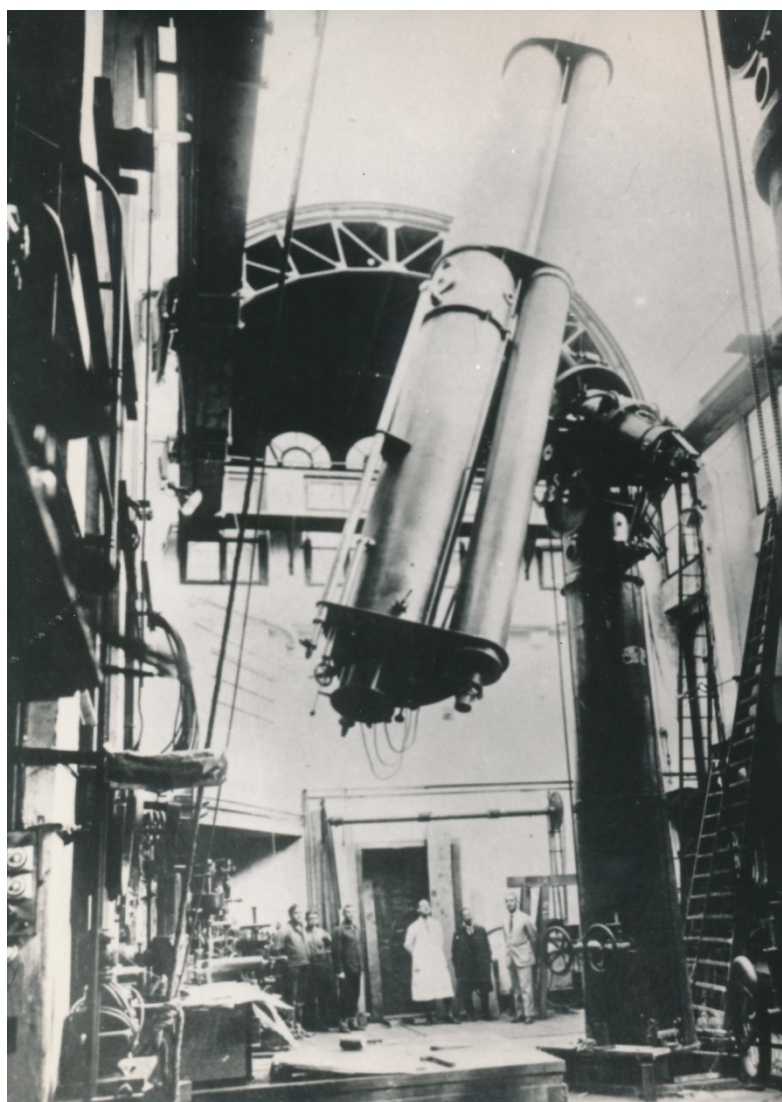


写真1 65cm 望遠鏡検収時の写真

写真1では人物が分かりにくいので、その部分を少し拡大したのが写真2である。写真の脚注には中央に写っているのが平山台長だと書いてあるが、人物は6人写っているから中央と言われても困るが、ドイツ人らしい大男の間に黒い服を着た人物がいる。その人物が平山台長だと思われる。平山台長は日本人では比較的大柄な人だったがこの3人の中央の人が平山台長であろう。

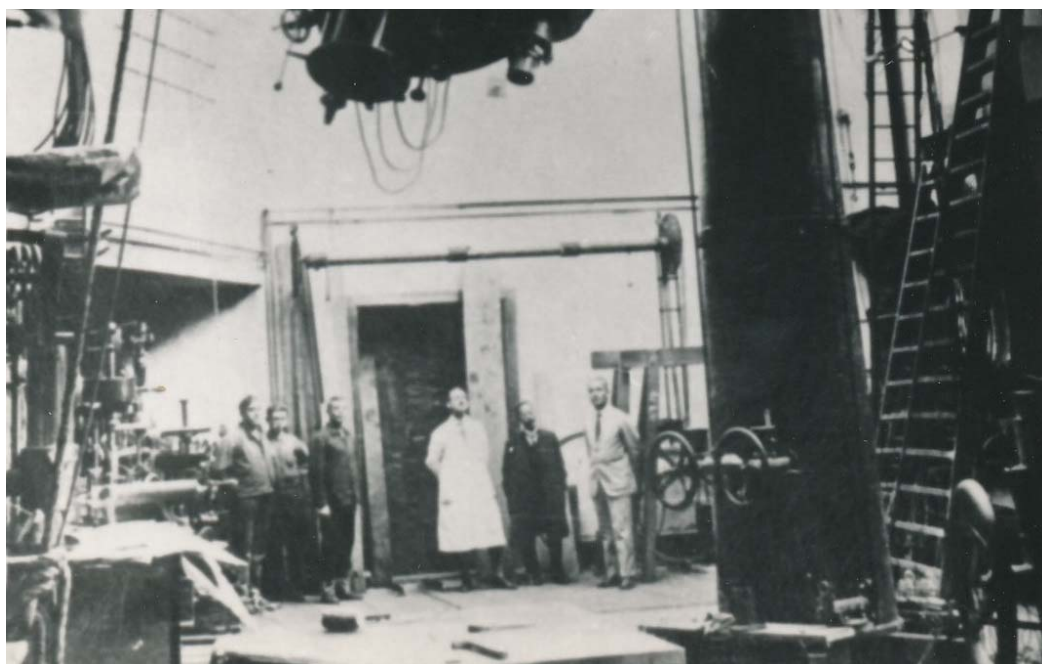


写真2 右側3人の中央が平山台長と思われる



写真3 前列中央が平山信元台長



写真4 正装の平山信元台長

写真 3、写真 4 が平山信元台長の写真である。この写真は平山元台長のお孫さんに当る平山淳名誉教授から提供されたものであるが、写真 1 に写っている人物はあまりに小さくて、同定は無理である。しかし、東京天文台写真集第 1 集をつくられた何十年か昔の人が書いた脚注を信じよう。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)